

blayco ディスポーザブル対極板 (ケーブル)

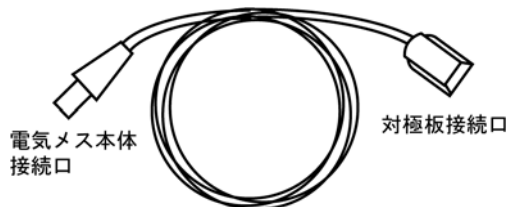
JTLF0023

【形状・構造及び原理等】

本添付文書は、blayco ディスポーザブル対極板に接続して使用する付属品のケーブルについて記載しています。

[代表図]

例：T4210



【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■ 製造販売業者

株式会社ジェイエスエス

大阪市中央区道修町 1-6-7 TEL：06-6222-3751

＊ ＊ ■ 外国製造業者

テリック社

(TELIC, S. A. U.)

スペイン

【使用目的又は効果】

本品は高周波電流を用いた生体組織の切開又は凝固を行うために電気メスと共に外科手術に使用する対極板である。

【使用方法等】

[使用方法]

1. 対極板の使用 방법에従い、患者に対極板を装着する。
2. 電気手術器本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、本品を対極板及び電気手術器に接続する。
注：ケーブルの対極板接続口の中心に対極板のタブを奥までしっかりと差し込むこと。
注：モニタ電極のリード線及び患者と接続した他の機器のコードと対極板のケーブルが交差しないように装着すること。
3. 使用後は電気手術器本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認した上で、患者から対極板を剥がし、本品を電気手術器本体及び対極板から外すこと。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- ・ 液体に浸漬したり、電気接点部に液体をかけたりしないこと。接点の変形や腐食により、接点不良を起こす原因となる。
- ・ ケーブルに無理な曲げ、引張り、ねじり、つぶし等の力を加えないこと。接点の変形や腐食により、接点不良を起こす原因となる。
- ・ 対極板及び電気手術器本体より取り外すときは、双方の接続口を持って取り外すこと。ケーブルを引っ張ると断線の原因になる。
- ・ 通常の出力量設定で機能が低下した場合は、出力を増加する前に、本品の双方接続口の接続、断線及び対極板の患者への接続を再確認すること。
- ・ 本品のケーブル部分はループにせず、患者、スタッフ、患者に装着されたケーブル又は他の電気機器のコードなどの導体に接触しないように注意すること。
- ・ ケーブルを誤って引っ張ったり、手術中に患者の姿勢を変えた場合は、本品のすべての接続箇所及び対極板を再点検すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管の条件]

- ・ 水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて室温で保存すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄について

本品を洗浄する場合は、アルコール性溶液または石鹼水で湿らせた柔らかいブラシまたはスポンジを用い、蒸留水ですすぐ。プラグをぬらさないこと。その後は十分乾燥させてから使用すること。

株式会社ジェイエスエス